

第 1 章 街路樹の現状

1 宇部市の現状

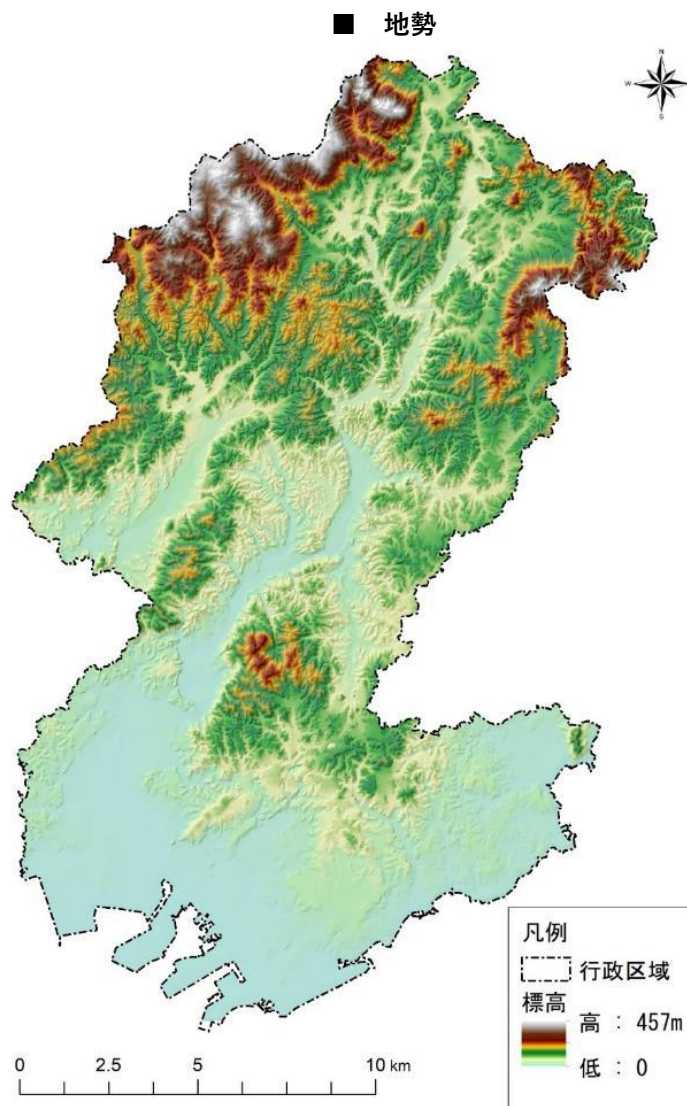
① 自然条件

位置・地勢

宇部市は、本州西端の山口県の南西部に位置し、西は山陽小野田市、東は山口市、北は美祢市に接し、南は瀬戸内海に面しています。

地勢は、南北に細長い扇状型で、東西 16.5km、南北 27.4km の広がりを持ち、南部は干拓地や埋め立て地で東西に長くまとまった沿岸平野をなし、中部から北部にかけては標高 50～100m の丘陵地が分布し、主要な山岳としては、市内最高峰の平原岳(395.1m)、霜降山(250.2m)や日ノ山(146.1m)などがあります。

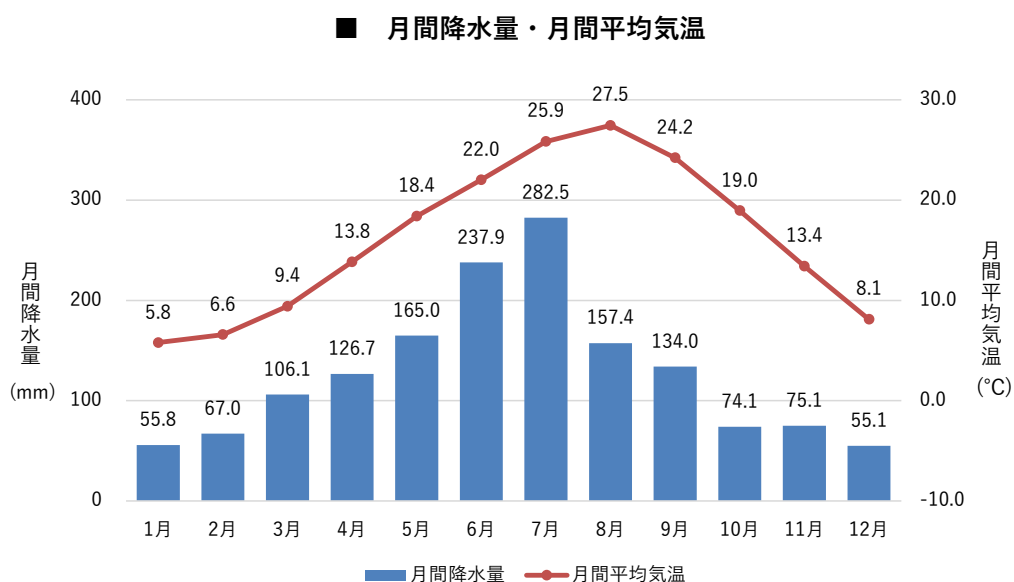
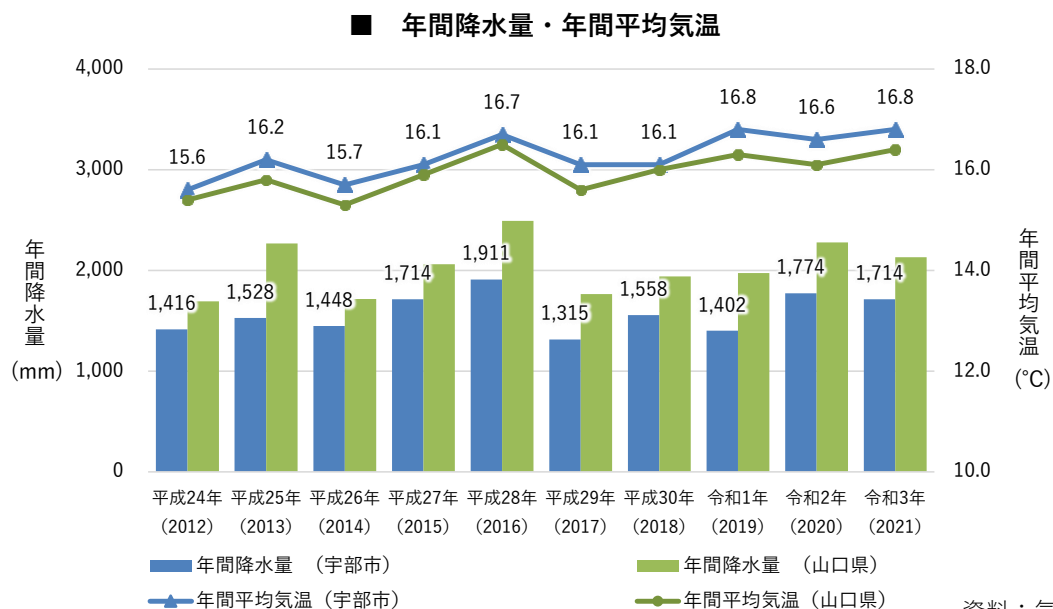
また、人工湖として常盤池、小野湖（厚東川ダム）、丸山ダムなどがあり、主要河川としては厚東川が市域の南北を貫流し、また、真締川が市街地の中心を流下し、周防灘に注いでいます。海岸線は東部に自然海岸が残されており、その他のほとんどは人工護岸となっています。



気象

宇部市は瀬戸内海式気候に属しており、年間降水量は 1,300～2,000 mm 程度、年平均気温は 15～17℃ 程度となっています。県と比較すると、気温はあまり差異がみられませんが、降水量は少なくなっています。

直近 20 年間の降水量及び平均気温を月別にみると、気温は 8 月が最も高く、降水量は 7 月が最も多くなっています。



※2002 年～2021 年の 20 年間の平均値

資料：気象庁

動植物

宇部市の中央部以北の丘陵地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。また、南は海に面していることから、山と海の幸にも恵まれています。市街地には真締川や厚東川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。自然豊かな市北部の荒滝山や小野湖周辺では、希少生物が多く生息しており、市街地に近接する霜降山は渡り鳥などの野鳥の貴重な生息地となっています。

宇部市の植生は、温暖化気候条件に恵まれた「ヤブツバキクラス域」に入り、スダジイ、タブノキ等の常緑広葉樹を伴った群落や群衆が各地で見られます。

なお、昭和 47 年の一般公募の結果、市木が「クスノキ」、市花が「サルビア」となり、その後、平成 16 年の旧楠町との合併により、町花であった「ツツジ」も市花となっています。



市木 クスノキ

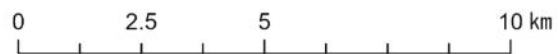
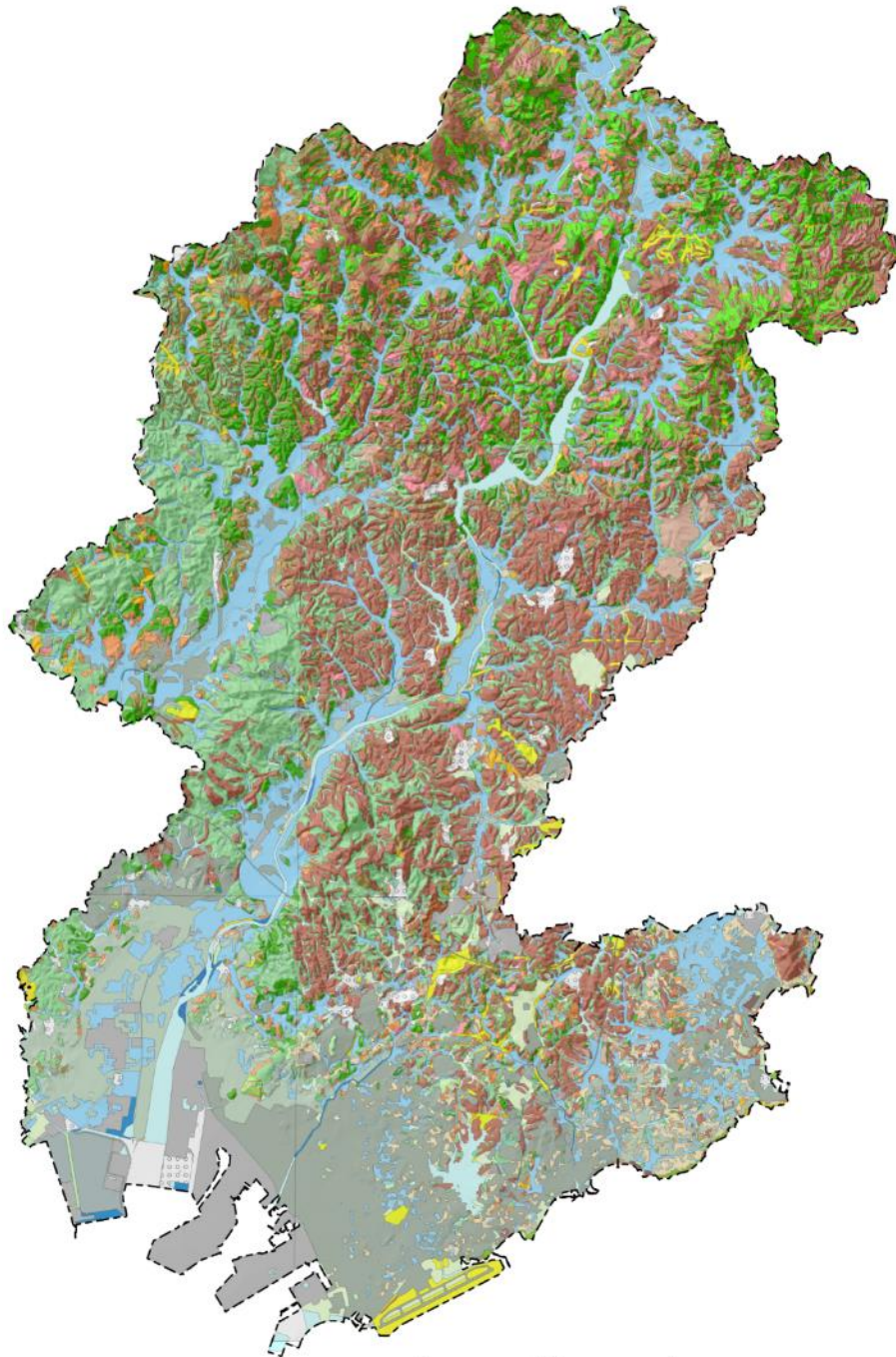


市花 サルビア



市花 ツツジ

■ 植生図



凡例

271100コジイ群落	440200クス群落	570100路傍・空地雑草群落
271200スダジイ群落	450100スキ群団 (V I I)	570101放棄畑雑草群落
271600タブノキ群落	460000伐採跡地群落 (V I I)	570200果樹園
320100ヤナギ高木群落 (V I)	470200ヌマガヤオーダー	570300畑雑草群落
320200ヤナギ低木群落 (V I)	470400ヨシクラス	570400水田雑草群落
330500ハマクサギ群落	470600ヒルムシロクラス	570500放棄水田雑草群落
340201トベラウバメガシ群集	480000塩沼地植生	580100市街地
400100シイ・カシ二次林	490000砂丘植生	580101緑の多い住宅地
400200タブノキヤブニッケイ二次林	540100スギ・ヒノキ・サワラ植林	580200残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
410100コナラ群落 (V I I)	540200アカマツ植林	580300工場地帯
410105アベマキコナラ群集	540300クロマツ植林	580400造成地
410400アカシデイヌシデ群落 (V I I)	540900外国産樹種植林	580500干拓地
411001アカメガシワエノキ群落	541000その他植林	580600開放水域
420100アカマツ群落 (V I I)	550000竹林	580700自然裸地
430000タケ・ササ群落	560100ゴルフ場・芝地	
440000低木群落	560200牧草地	

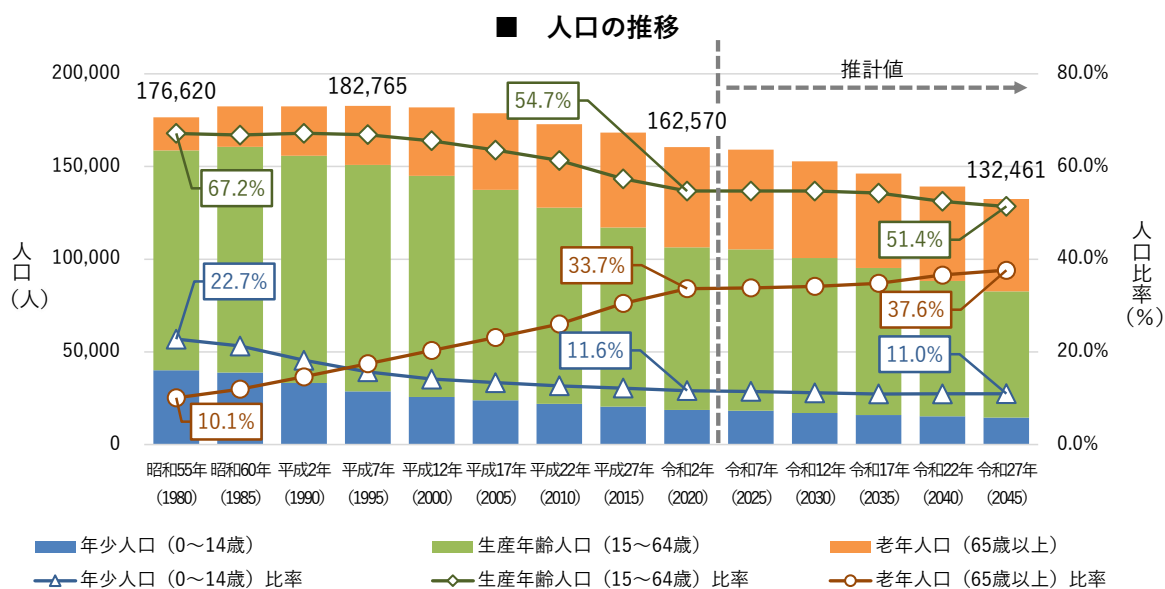
資料：自然環境保全基礎調査

② 社会条件

人口

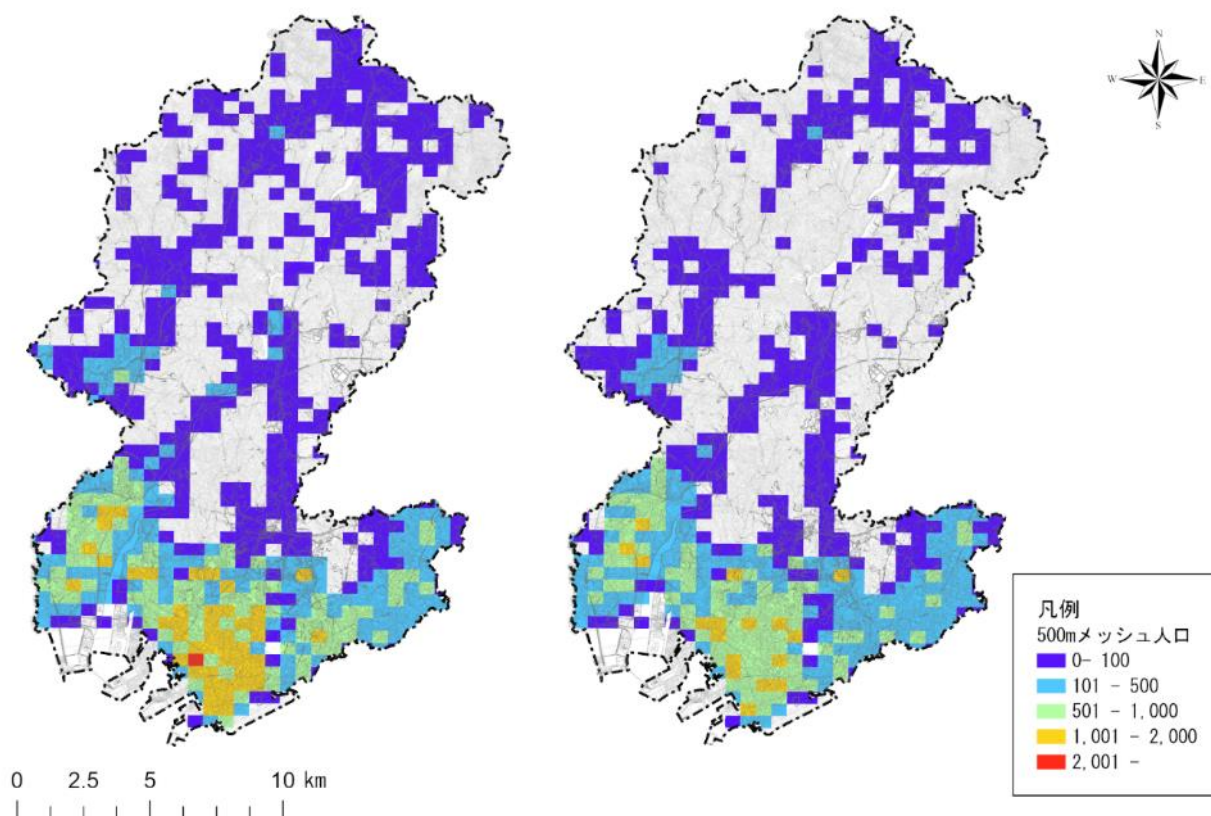
宇部市の人口は、平成 7 年（182,765 人）をピークに減少に転じ、令和 2 年には 162,570 人となっています。

今後も人口減少は継続し、令和 27 年には 132,461 人になると推計されています。年齢 3 区分別人口をみると、老年人口比率は一貫して増加しており、令和 27 年には 37.6%になると推計されています。



資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

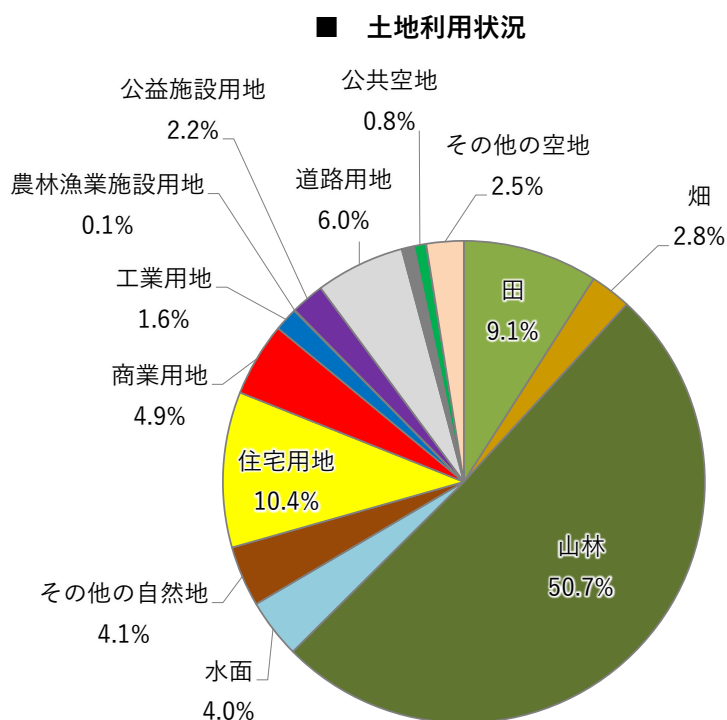
■ 人口分布（左：平成 27 年、右：令和 27 年）



土地利用

都市計画区域内における土地利用現況をみると、田・畑や山林等の自然的土地利用が市域の7割以上を占めています。

一方、都市的土地利用をみると、住宅用地、商業用地、工業用地は市全域の約15%程度、道路用地は6%となっています。



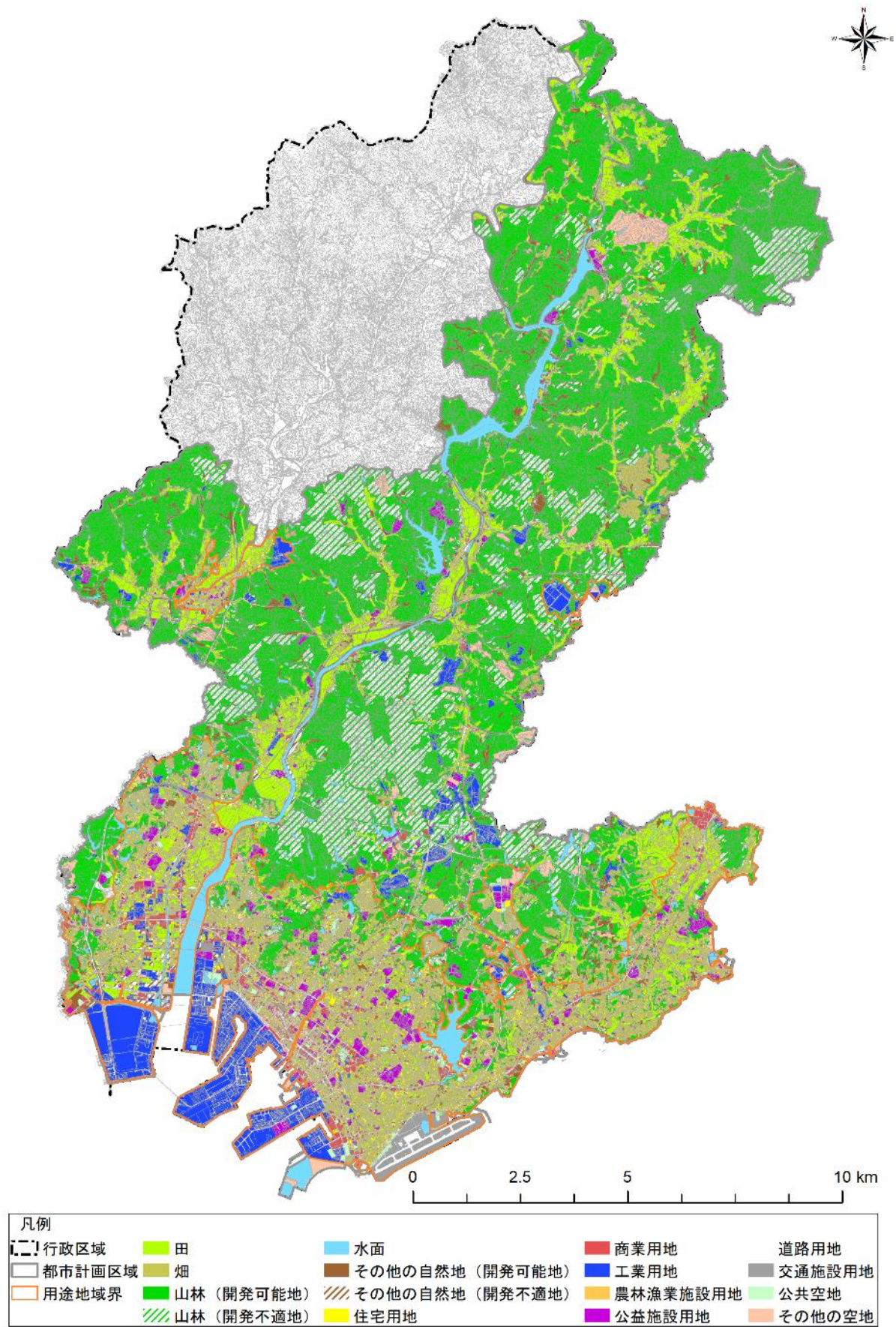
■ 土地利用区分別面積割合

区分			面積	構成比
自然的土地利用	農地	田	2,065.6 ha	9.1%
		畑	629.1 ha	2.8%
	山林	山林	11,569.9 ha	50.7%
	水面	水面	906.6 ha	4.0%
	その他の自然地	その他の自然地	928.1 ha	4.1%
都市的土地利用	宅地	住宅用地	2,380.4 ha	10.4%
		商業用地	1,127.9 ha	4.9%
		工業用地	360.6 ha	1.6%
	農林漁業施設用地	農林漁業施設用地	12.4 ha	0.1%
	公益施設用地	公益施設用地	511.8 ha	2.2%
	道路用地	道路用地	1,362.7 ha	6.0%
	交通施設用地	交通施設用地	189.2 ha	0.8%
	公共空地	公共空地	187.3 ha	0.8%
	その他公的施設用地	その他公的施設用地	0 ha	0.0%
	その他の空地	その他の空地	570.3 ha	2.5%
合計			22,801.9 ha	100.0%

※都市計画基礎調査は、宇部都市計画区域を対象に実施

資料：平成29年度都市計画基礎調査

■ 土地利用現況



※都市計画基礎調査は、宇部都市計画区域を対象に実施

資料：平成 29 年度都市計画基礎調査

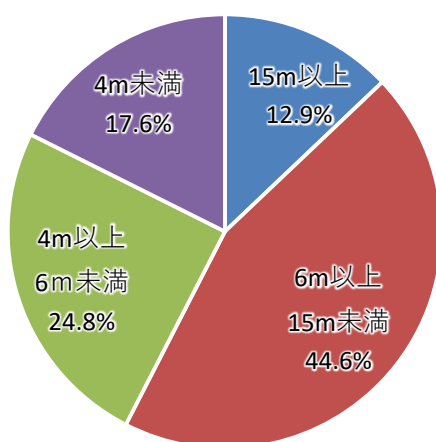
都市施設

(1) 道路（幅員別）

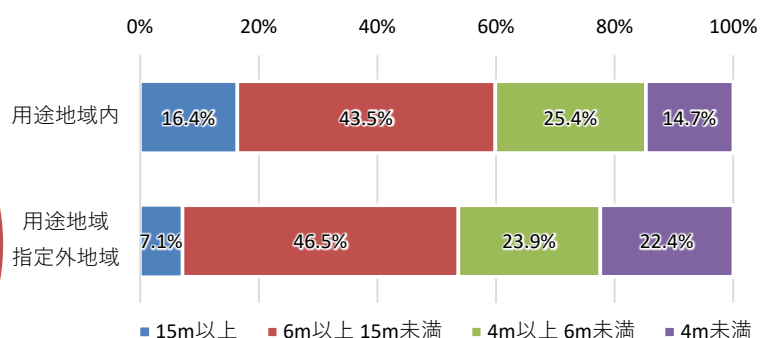
道路整備状況について幅員別にみると、市全体の道路整備（約 776.8km）のうち、「6m以上 15m未満」が 44.6%と最も多くなっており、次いで「4m以上 6m未満」が 24.8%、「4m未満」が 17.6%となっています。

用途地域の指定状況別にみると、用途地域内は用途地域指定外地域と比較して「15m以上」の割合が多くなっており、高幅員道路が比較的多く整備されています。

■ 道路整備状況割合



■ 用途地域指定別 道路整備状況割合



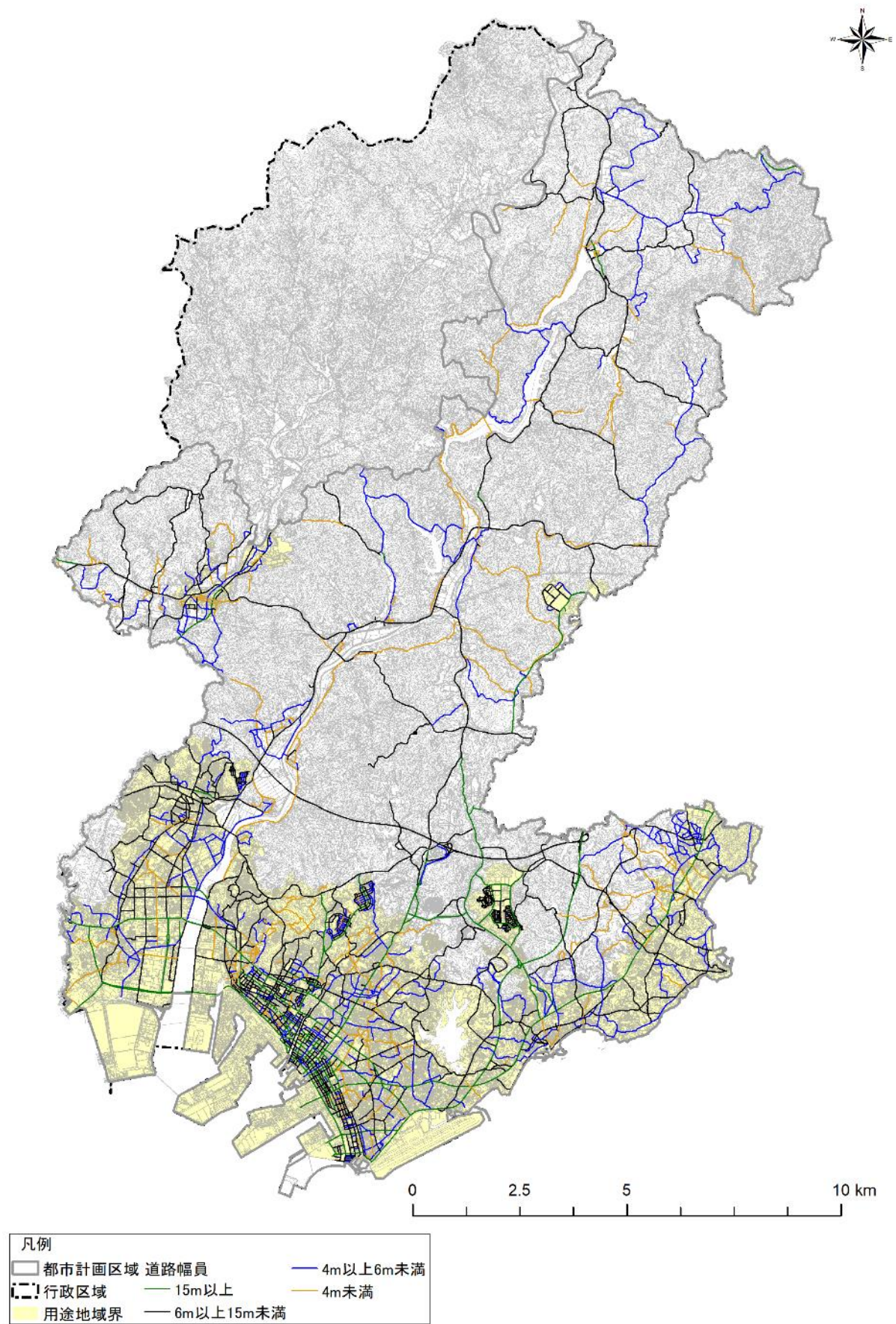
■ 用途地域別 道路整備状況

	15m以上	6m以上 15m未満	4m以上 6m未満	4m未満
用途地域内	79,460.8 m	210,883.8 m	123,053.4 m	71,420.7 m
用途地域指定外地域	20,855.5 m	135,839.1 m	69,795.9 m	65,486.9 m
合計	100,316.3 m	346,722.9 m	192,849.3 m	136,907.6 m

※都市計画基礎調査は、宇部都市計画区域を対象に実施

資料：平成 29 年度都市計画基礎調査

■ 幅員別道路状況



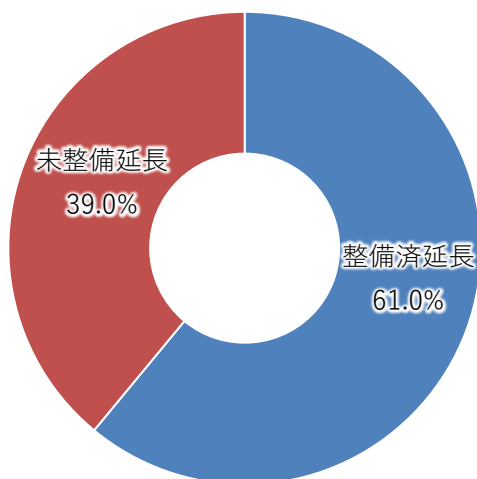
※都市計画基礎調査は、宇部都市計画区域を対象に実施

資料：平成 29 年度都市計画基礎調査

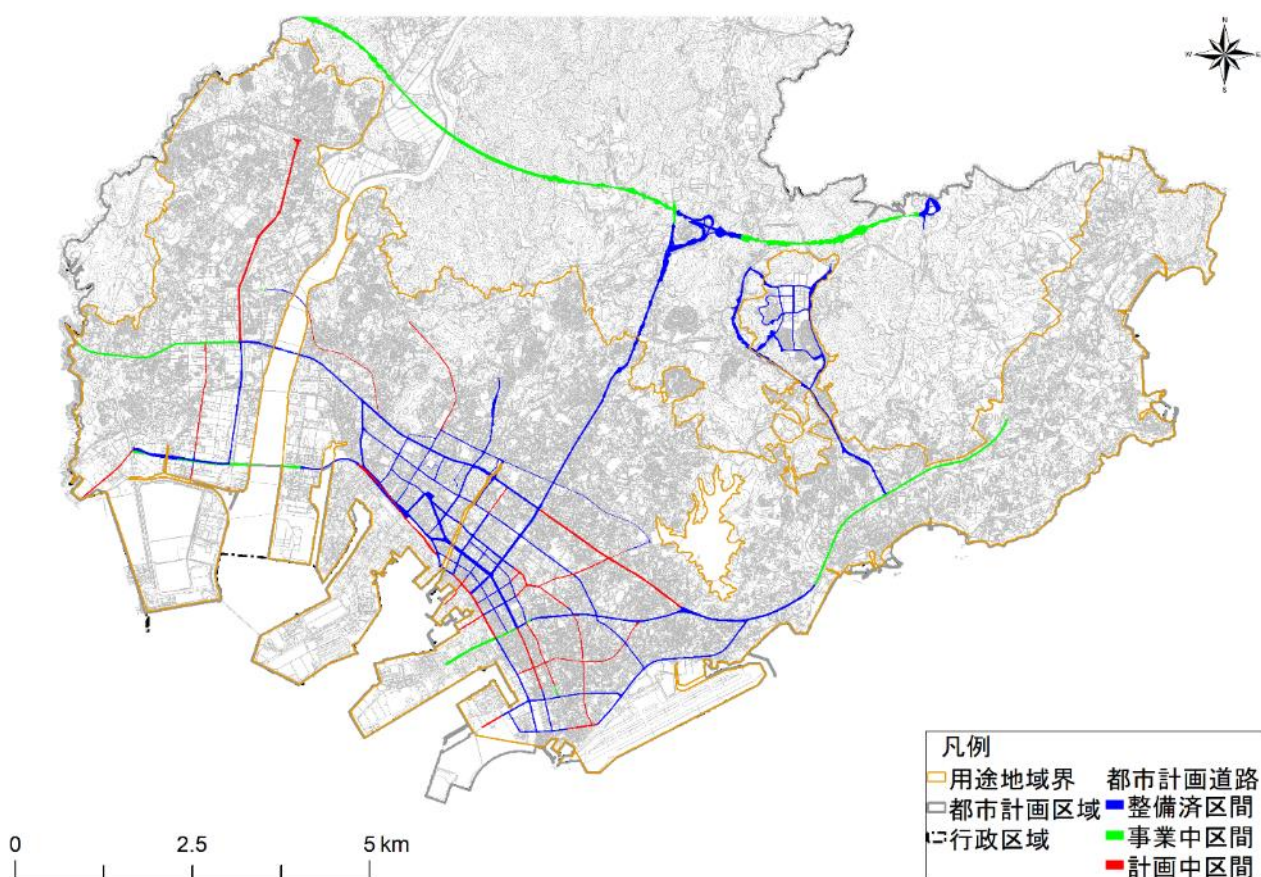
(2) 都市計画道路

都市計画道路については 44 路線が都市計画決定されており、平成 29 年時点では、計画延長 113.5km に対して整備済延長※が 69.2km となっており、整備率は 61.0%となっています。

■ 都市計画道路の整備割合



■ 都市計画道路の整備状況位置



資料：平成 29 年度都市計画基礎調査

※整備済区間には以下の改良済・既成済の延長を含む

改良済：用地が計画のとおり確保されており、供用している

既成済：改良済以外の区間のうち、都市計画施設と同程度の機能している

■ 路線別都市計画道路の進捗状況

名称	進捗状況		
	計画	事業中	整備済
駅通線	590.0m	－	590.0m
宇部新川駅沖ノ山線	360.0m	－	360.0m
柳ヶ瀬丸河内線	15,790.0m	8,870.0m	6,920.0m
中央線	5,690.0m	1,020.0m	4,670.0m
参宮線	6,330.0m	300.0m	6,030.0m
新町明神線	3,140.0m	1,110.0m	2,030.0m
宇部新川駅八王子線	4,040.0m	2,720.0m	1,320.0m
琴芝宇部港線	1,340.0m	430.0m	910.0m
則貞曹達線	3,540.0m	1,160.0m	2,380.0m
宇部駅波多野開作線	7,130.0m	3,850.0m	3,280.0m
山村請川線	4,160.0m	－	4,160.0m
片倉1号線	360.0m	－	360.0m
逢坂線	360.0m	360.0m	0.0m
岬沖空港線	2,070.0m	330.0m	1,740.0m
小串中央線	2,370.0m	－	2,370.0m
恩田通線	1,080.0m	610.0m	470.0m
東海岸線	4,150.0m	420.0m	3,730.0m
鍋倉草江線	5,220.0m	－	5,220.0m
若松線	340.0m	－	340.0m
片倉線	1,970.0m	－	1,970.0m
片倉請川線	960.0m	－	960.0m
請川線	1,050.0m	－	1,050.0m
請川片倉線	830.0m	－	830.0m
真締川東通線	690.0m	－	690.0m
宇部新川駅浜通線	570.0m	－	570.0m
常盤町岬線	2,480.0m	1,130.0m	1,350.0m
新町明治町線	1,470.0m	100.0m	1,370.0m
寿町港町線	920.0m	500.0m	420.0m
東新川明治町線	660.0m	200.0m	460.0m
浜町西中町線	700.0m	－	700.0m
西割新開作線	1,990.0m	1,740.0m	250.0m
則貞笹山線	1,930.0m	1,930.0m	0.0m
中山西本町線	2,970.0m	2,050.0m	920.0m
片倉2号線	1,600.0m	－	1,600.0m
真締川西通線	220.0m	－	220.0m
小串神原線	5,040.0m	1,290.0m	3,750.0m
鍋倉東割線	2,660.0m	1,960.0m	700.0m
浜町小松原線	410.0m	－	410.0m
小松原若松線	340.0m	－	340.0m
外唐戸内堀線	430.0m	－	430.0m
新都市中央線	510.0m	－	510.0m
宇部下関自動車道	9,830.0m	8,900.0m	930.0m
宇部湾岸線	4,960.0m	3,300.0m	1,660.0m
山口宇部線	270.0m	－	270.0m

資料：平成 29 年度都市計画基礎調査

(3) 都市公園

公園の整備状況についてみると、街区公園が62箇所(約19.3ha)、近隣公園が9箇所(約10.6ha)、地区公園が5箇所(約13.8ha)、総合公園が2箇所(約166.5ha)、運動公園が2箇所(約15.9ha)、風致公園が2箇所(約6.6ha)、都市緑地が1箇所(約0.1ha)等となっています。

街路樹については、58路線で107,483本が植えられており、総延長は約46.9kmとなっています。

■都市公園の整備状況

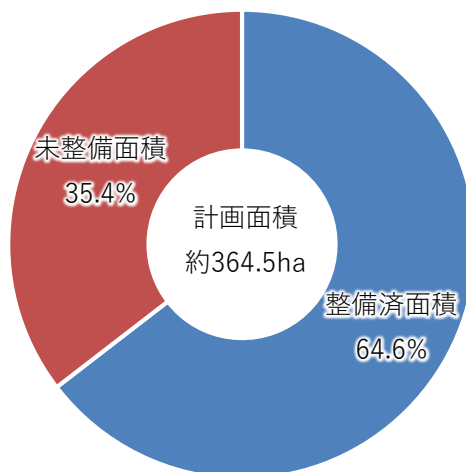
種別		項目	内容	種別	項目	内容
都市公園	街区公園	箇所数	62箇所	風致地区	箇所数	7箇所
		面積	19.28 ha		面積	438.9 ha
	近隣公園	箇所数	9箇所	グリーンベルト (路線)	路線数	9路線
		面積	10.6 ha			
	地区公園	箇所数	5箇所			
		面積	13.8 ha	街路樹	路線数	58路線
	総合公園	箇所数	2箇所		延長	46,885 m
		面積	166.5 ha		本数	107483本
	運動公園	箇所数	2箇所			
		面積	15.9 ha			
	風致公園	箇所数	2箇所			
		面積	6.6 ha			
	墓園	箇所数	3箇所			
		面積	12.1 ha			
	都市緑地	箇所数	1箇所			
		面積	0.1 ha			

資料：宇部市統計書（令和2年）

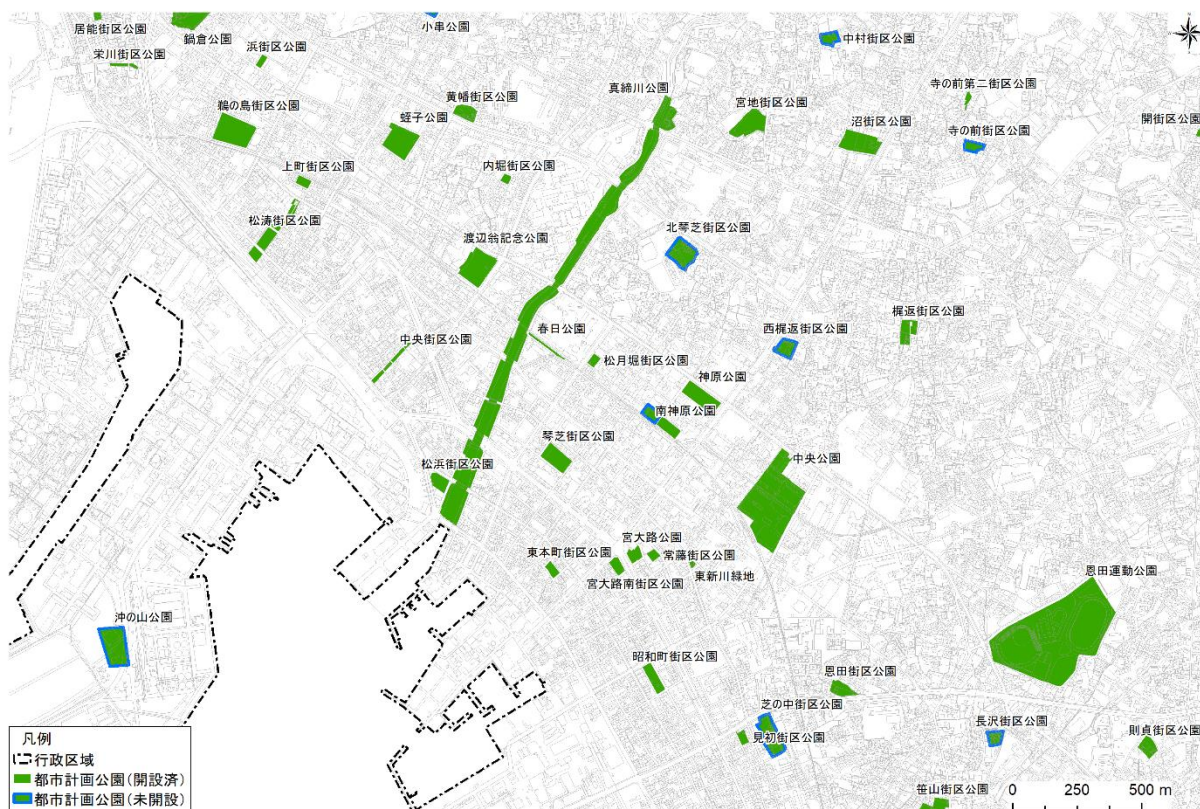
(4) 都市計画公園

都市計画公園については 104 箇所が都市計画決定されており、平成 29 年時点では、計画面積 364.5ha に対して整備済が 235.4ha となっており、整備率は 64.6%となっています。

■ 都市計画公園の整備割合



■ 都市計画公園の整備状況



資料：平成 29 年度都市計画基礎調査

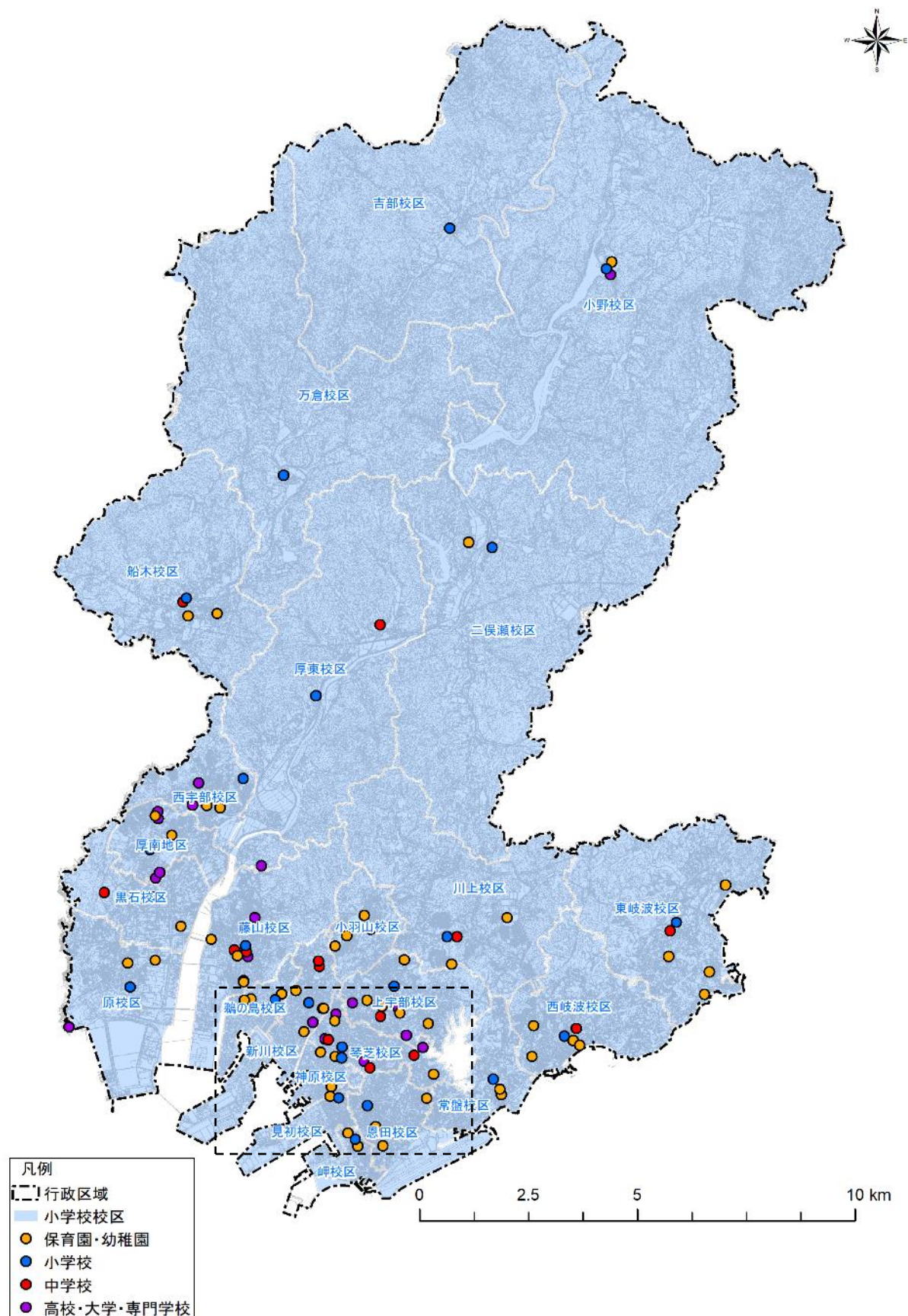
■ 都市計画公園の進捗状況

名称	進捗状況			名称	進捗状況		
	計画	事業中	整備済		計画	事業中	整備済
北琴芝街区公園	0.8ha	0.8ha	0.0ha	栄川街区公園	0.1ha	－	0.1ha
宮地街区公園	0.9ha	－	0.9ha	里の尾街区公園	0.2ha	－	0.2ha
中村街区公園	0.3ha	0.3ha	0.0ha	岩鼻西街区公園	0.1ha	－	0.1ha
沼街区公園	1.1ha	0.7ha	0.4ha	萩原街区公園(変更)	0.2ha	－	0.2ha
寺の前街区公園	0.2ha	0.2ha	0.0ha	棚井下街区公園	0.1ha	－	0.1ha
梶返街区公園	0.5ha	0.2ha	0.3ha	波雁浜街区公園	0.3ha	－	0.3ha
西梶返街区公園	0.3ha	0.3ha	0.0ha	東割街区公園	0.1ha	－	0.1ha
琴芝街区公園	0.3ha	0.3ha	0.0ha	小羽山 1 号街区公園	0.3ha	－	0.3ha
則貞街区公園	0.5ha	0.3ha	0.1ha	小羽山 2 号街区公園	0.2ha	－	0.2ha
草江街区公園	0.3ha	0.3ha	0.0ha	小羽山 3 号街区公園	0.6ha	－	0.6ha
長沢街区公園	0.3ha	0.3ha	0.0ha	上町街区公園	0.2ha	－	0.2ha
恩田街区公園	0.4ha	0.3ha	0.1ha	丸山街区公園	0.3ha	－	0.3ha
笹山街区公園	0.9ha	0.1ha	0.8ha	上中野街区公園	0.4ha	－	0.4ha
五十目山街区公園	0.5ha	0.4ha	0.1ha	浜街区公園	0.1ha	－	0.1ha
沖州街区公園	0.2ha	0.2ha	0.0ha	山の手街区公園	0.3ha	－	0.3ha
明神街区公園	0.7ha	－	0.7ha	前田街区公園	0.5ha	－	0.5ha
開街区公園	0.1ha	－	0.1ha	松井堀街区公園	0.1ha	－	0.1ha
東見初街区公園	0.6ha	－	0.6ha	松見街区公園	0.5ha	－	0.5ha
岬街区公園	0.3ha	－	0.3ha	内堀街区公園	0.1ha	－	0.1ha
松山通街区公園	0.3ha	0.2ha	0.2ha	北小羽山街区公園	0.2ha	－	0.2ha
芝の中街区公園	0.9ha	0.9ha	0.0ha	八王子街区公園	0.1ha	－	0.1ha
見初街区公園	0.2ha	－	0.2ha	風呂ヶ迫第 2 号街区公園	0.3ha	－	0.3ha
昭和町街区公園	0.4ha	－	0.4ha	下片倉街区公園	0.3ha	－	0.3ha
第一原街区公園	0.3ha	－	0.3ha	下請川街区公園	0.4ha	－	0.4ha
宮大路南街区公園	0.3ha	－	0.3ha	春日公園	0.1ha	－	0.1ha
東本町街区公園	0.2ha	－	0.2ha	神原公園	0.8ha	－	0.8ha
琴芝街区公園	0.7ha	－	0.7ha	南神原公園	0.4ha	－	0.4ha
中央街区公園	0.4ha	－	0.4ha	八王子公園	1.3ha	1.3ha	0.0ha
藤山北街区公園	0.1ha	－	0.1ha	宮大路公園	0.3ha	－	0.3ha
松涛街区公園	1.0ha	－	1.0ha	真締川公園	10.2ha	7.8ha	2.4ha
鵜の島街区公園	1.5ha	－	1.5ha	沖の山公園	1.2ha	1.2ha	0.0ha
居能街区公園	0.5ha	0.4ha	0.1ha	渡辺翁記念公園	1.5ha	－	1.5ha
際波街区公園	0.4ha	－	0.4ha	小串公園	5.0ha	5.0ha	0.0ha
岩鼻街区公園	0.3ha	0.3ha	0.0ha	福原史跡公園	1.2ha	0.2ha	1.0ha
平原街区公園	1.1ha	1.1ha	0.0ha	小羽山中央公園	1.5ha	1.5ha	0.0ha
西の宮児童公園	0.5ha	0.5ha	0.0ha	床波公園	1.0ha	1.0ha	0.0ha
藤曲街区公園	0.3ha	0.3ha	0.0ha	蛭子公園	1.2ha	－	1.2ha
常藤街区公園	0.1ha	－	0.1ha	片倉公園	2.1ha	－	2.1ha
焼石街区公園	0.4ha	0.4ha	0.0ha	鍋倉公園	2.7ha	2.1ha	0.6ha
黄幡街区公園	0.4ha	0.1ha	0.3ha	黒石公園	2.7ha	－	2.7ha
松浜街区公園	0.3ha	－	0.3ha	琴崎公園	3.9ha	0.1ha	3.8ha
草江街区公園	0.2ha	－	0.2ha	南方公園	3.4ha	－	3.4ha
西宇部街区公園	0.3ha	－	0.3ha	請川公園	3.3ha	－	3.3ha
風呂ヶ迫第 1 号街区公園	0.1ha	－	0.1ha	常盤公園	189.4ha	30.4ha	159.0ha
岬共愛街区公園	0.1ha	－	0.1ha	中央公園	5.1ha	1.1ha	4.0ha
西園街区公園	0.2ha	－	0.2ha	恩田運動公園	10.8ha	－	10.8ha
黒石街区公園	0.2ha	－	0.2ha	岩鼻公園	26.4ha	21.8ha	4.6ha
琴崎街区公園	0.2ha	－	0.2ha	三神公園	2.0ha	－	2.0ha
藤山南街区公園	0.4ha	－	0.4ha	東新川緑地	0.1ha	－	0.1ha
寺の前第二街区公園	0.1ha	－	0.1ha	開墓園	10.6ha	8.5ha	2.1ha
丸尾街区公園	0.4ha	－	0.4ha	小羽山墓園	4.5ha	3.6ha	0.9ha
西ヶ丘街区公園	0.1ha	－	0.1ha	白石墓園	44.0ha	34.9ha	9.1ha

資料：平成 29 年度都市計画基礎調査

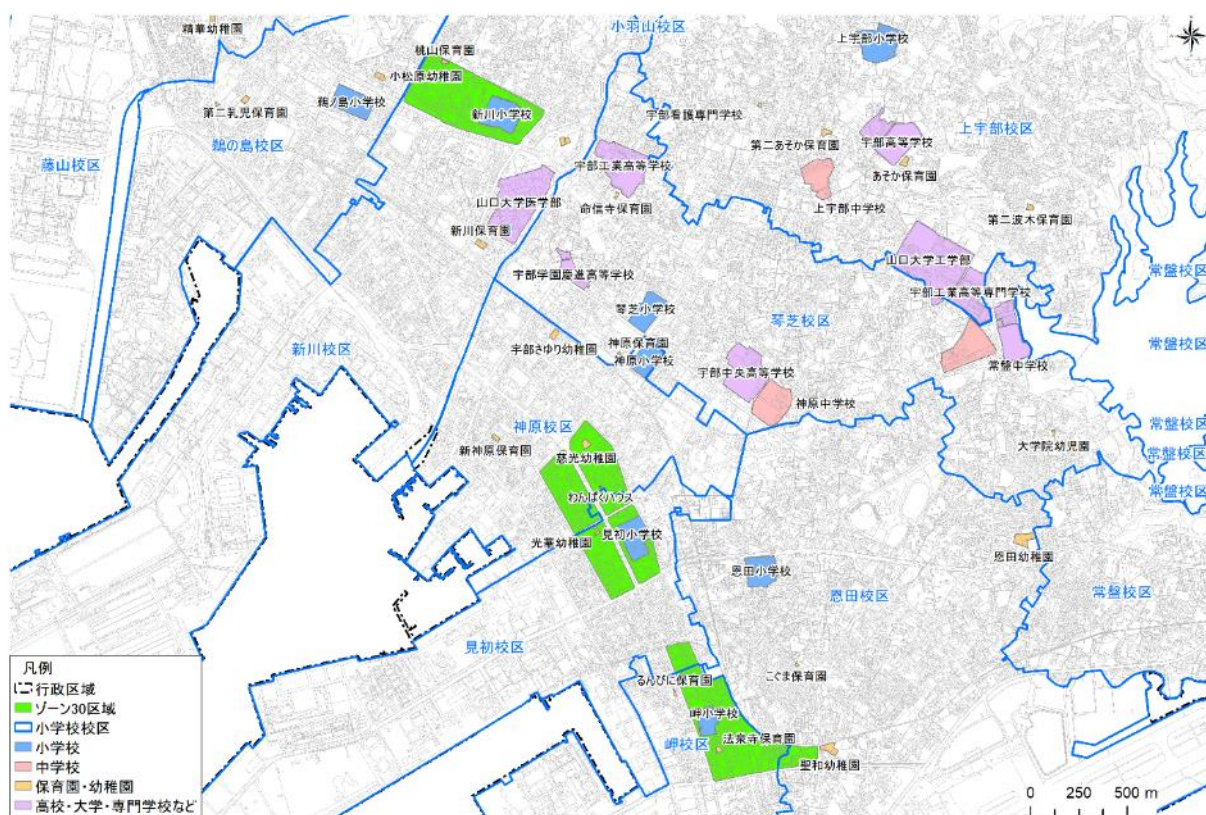
保育施設・教育施設

宇部市の保育施設・教育施設をみると、保育施設が 48 施設、小学校が 24 施設、中学校が 14 施設、高校・大学・専門学校が 20 施設あります。



宇部市では、平成 26 年 3 月に、松山町一丁目の区域を「ゾーン 30」として初めて設定し、現在、錦町、松山町二丁目、松山町五丁目、昭和町一丁目、西小串一丁目周辺の計 6 箇所で運用しています。

■ ゾーン 30 設定区域



区域規制標識



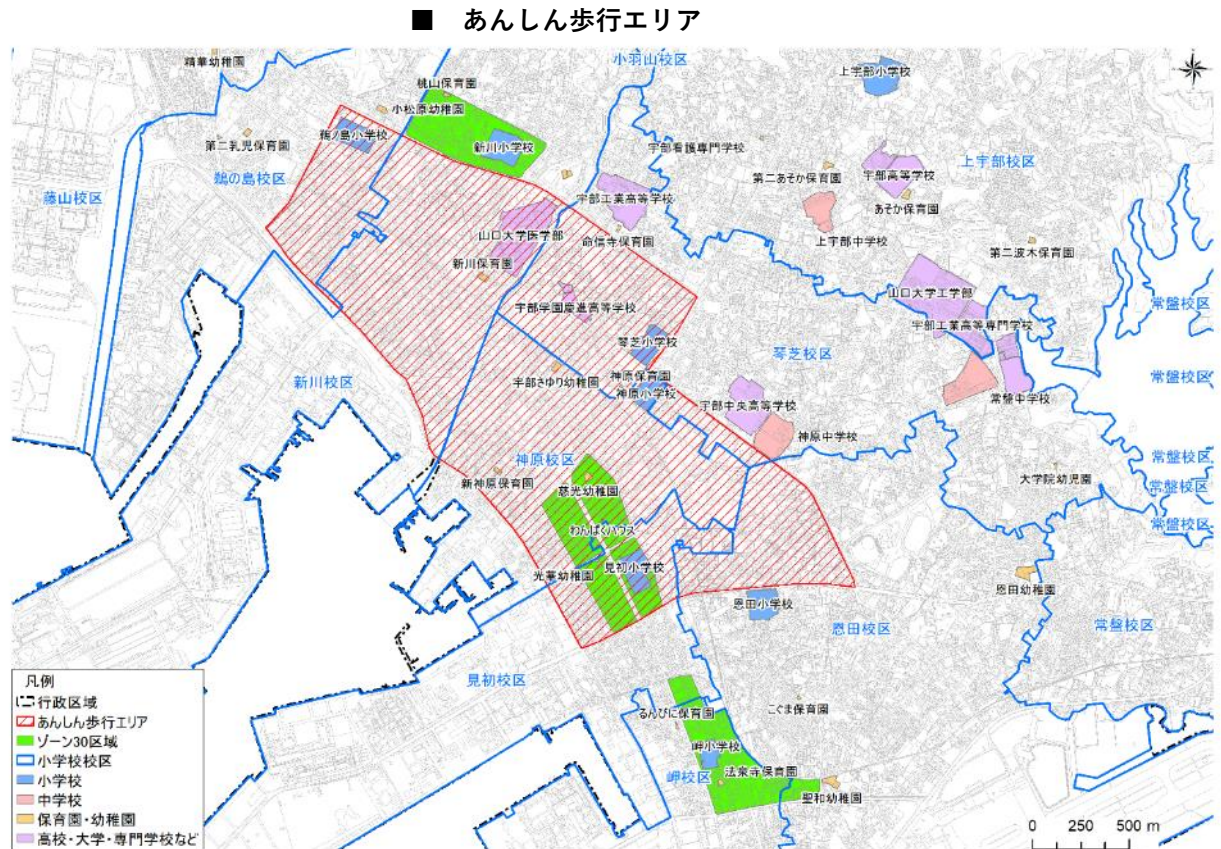
路面標示

「ゾーン 30」とは、市街地等で通学路が集中する区域などを、歩行者や自転車の通行を優先するゾーンに設定し、区域内道路の最高速度を 30 キロに規制するほか、区域を明確化するため区域入口に「ゾーン 30」を路面表示し、自動車の走行速度や抜け道利用の抑制と交通事故防止を図る

(参考) あんしん歩行エリア

警察庁と国土交通省が、平成 15 年に歩行者自転車の交通事故抑止対策として、あんしん歩行エリアの指定を行っています。

宇部市は中心市街地内にエリアが指定されており、エリア内では歩行空間の安全度の向上を図る対策が実施されています。

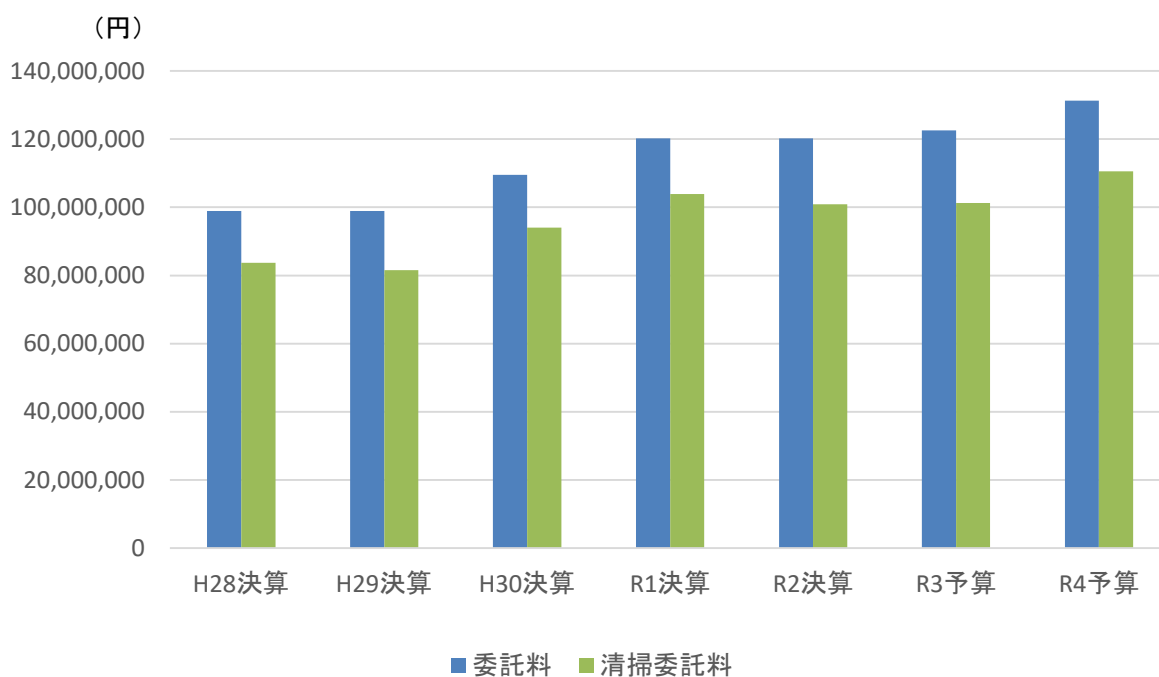


財政

宇部市の公園施設等に係る管理経費の推移をみると、平成 28 年（決算額）で約 1.26 億円となっていました。令和 4 年（予算額）には約 1.55 億円となるなど増加傾向にあり、そのうち委託料が 8 割以上を占めています。また、委託料の内訳をみると、清掃委託料（街路樹及び公園樹木の高木剪定や支障木伐採等を含む）が大半を占めており、平成 28 年の約 8,370 万円から令和 4 年には約 1.1 億円に増加しています。

これら管理経費については、物価や労務単価等の上昇が要因となり、増加傾向にあると考えられます。

■ 公園施設等の管理経費（委託料及び清掃委託料）



資料：庁内資料

2 緑の現況調査

宇部市の緑の現況を把握するために、中心市街地の街路樹及び公園樹木を対象に、植栽の生育状況や建築限界等の制限に即した周辺施設への支障状況等について現地調査を行いました。

① 調査概要

調査日

・令和4年8月1日～5日、15日～16日

調査方法

・調査対象区域内に植栽されている樹木（高木・低木）を目視にて確認し、植栽樹木の概要や道路空間特性、問題点等をカルテ形式にてとりまとめた

調査項目

- ・路線距離又は公園面積
- ・道路空間特性（植栽帯の種類、建築物の状況、有効・植栽・歩道幅員など） ※街路樹のみ
- ・植栽樹木の種類
- ・重点確認事項（以下の項目の有無）
 - 1）建築限界越え（歩道側・車道側）
 - 2）隣接地への越境
 - 3）樹木の異常
 - 4）大型化
 - 5）根上がり・舗装クラック
- ・その他所見 など

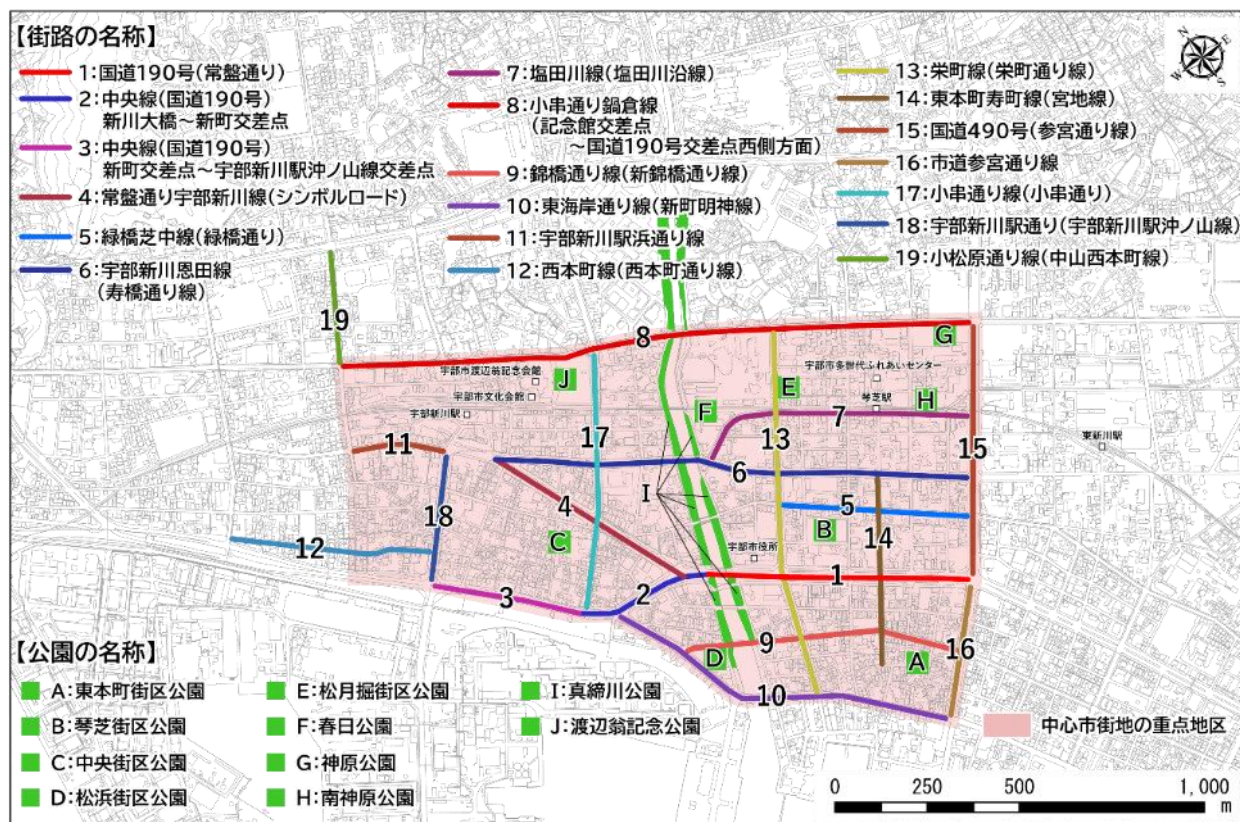
調査状況



調査対象

- ・ 中心市街地内における主要街路及び公園

■ 調査対象区域



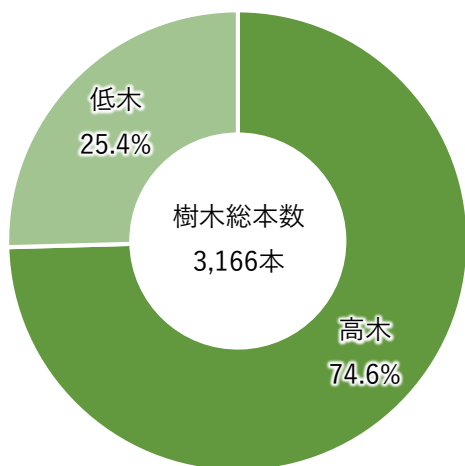
② 調査結果

全体

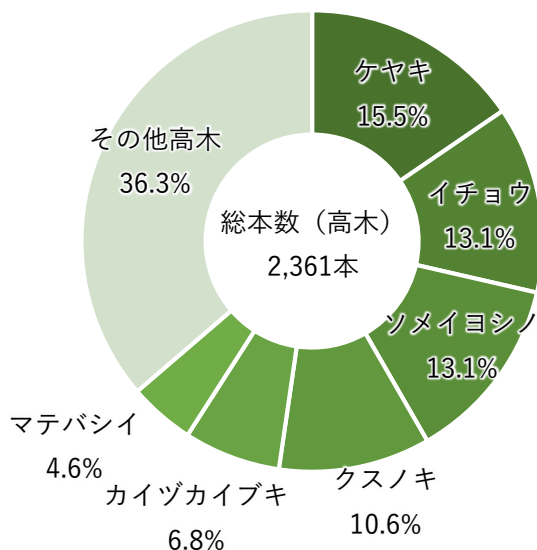
調査対象区域における令和4年8月現在の樹木総本数は3,166本となっており、そのうち高木が74.6% (2,361本)、低木が25.4% (805本) となっています。

また、高木の樹種をみると、ケヤキが15.5% (365本) と最も多く、次いでイチョウが13.1% (310本)、ソメイヨシノが13.1% (310本)、クスノキが10.6% (251本) となっています。

■ 樹木総本数と内訳



■ 高木の樹種

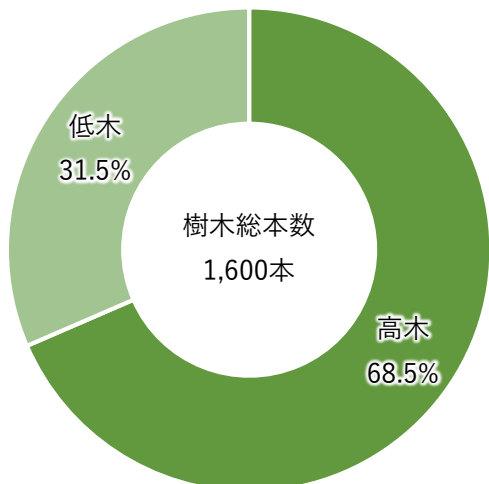


街路樹

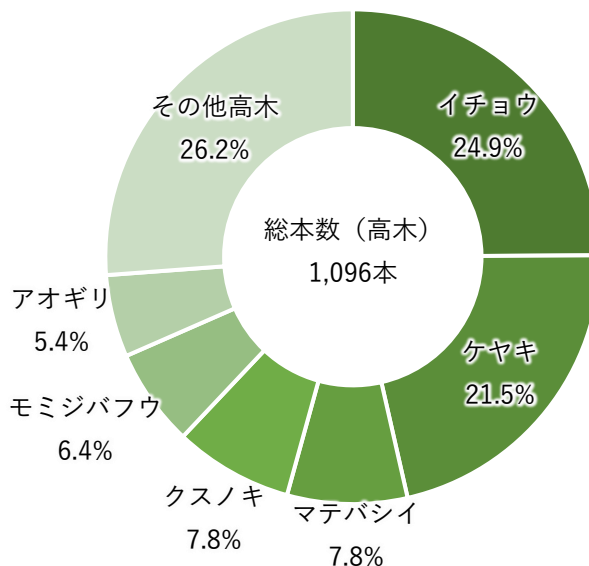
調査対象区域における令和4年8月現在の街路樹の総本数は1,600本となっており、そのうち高木が68.5% (1,096本)、低木が31.5% (504本) となっています。

また、高木の樹種をみると、イチョウが24.9% (273本) と最も多く、次いでケヤキが21.5% (236本)、マテバシイが7.8% (86本)、クスノキが7.8% (85本) となっています。

■ 樹木総本数と内訳

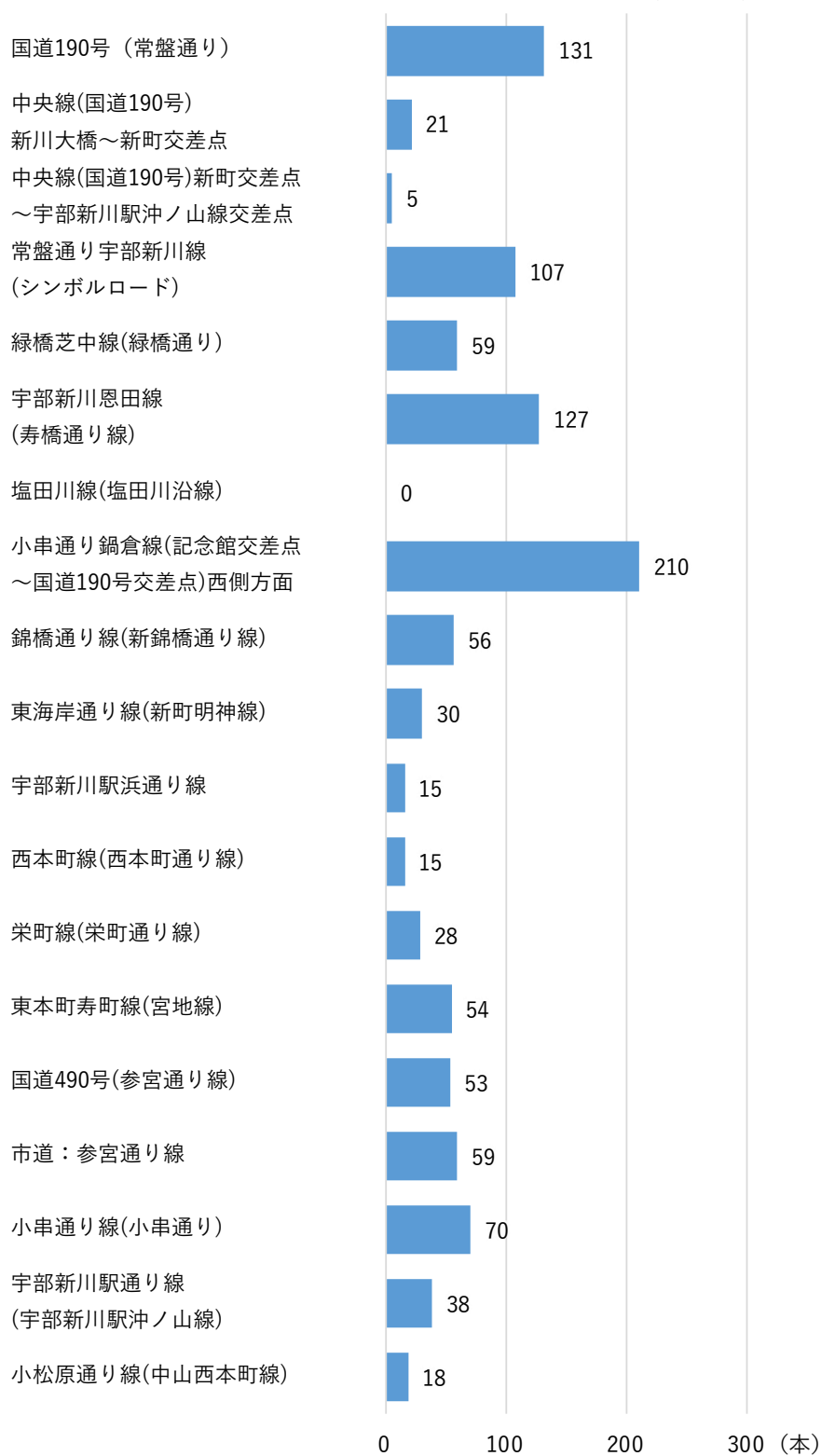


■ 高木の樹種



路線ごとの高木の本数をみると、小串通り鍋倉線（記念館交差点～国道 190 号交差点）西側方面が 210 本と最も多く、次いで国道 190 号（常盤通り）が 131 本、宇部新川恩田線（寿橋通り線）が 127 本、常盤通り宇部新川線（シンボルロード）が 107 本となっています。

■ 高木の本数（路線別）



国道 190 号 (常盤通り)



常盤通り宇部新川線 (シンボルロード)

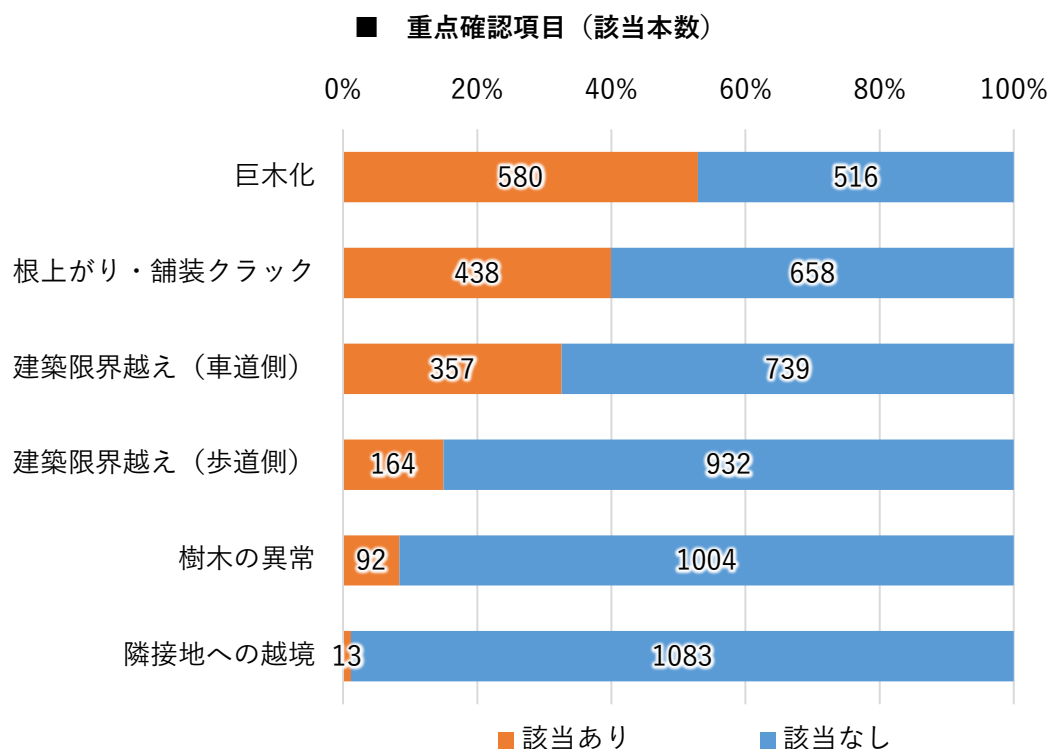


宇部新川恩田線 (寿橋通り線)



小串通り 鍋倉線
(記念館交差点～国道 190 号交差点) 西側方面

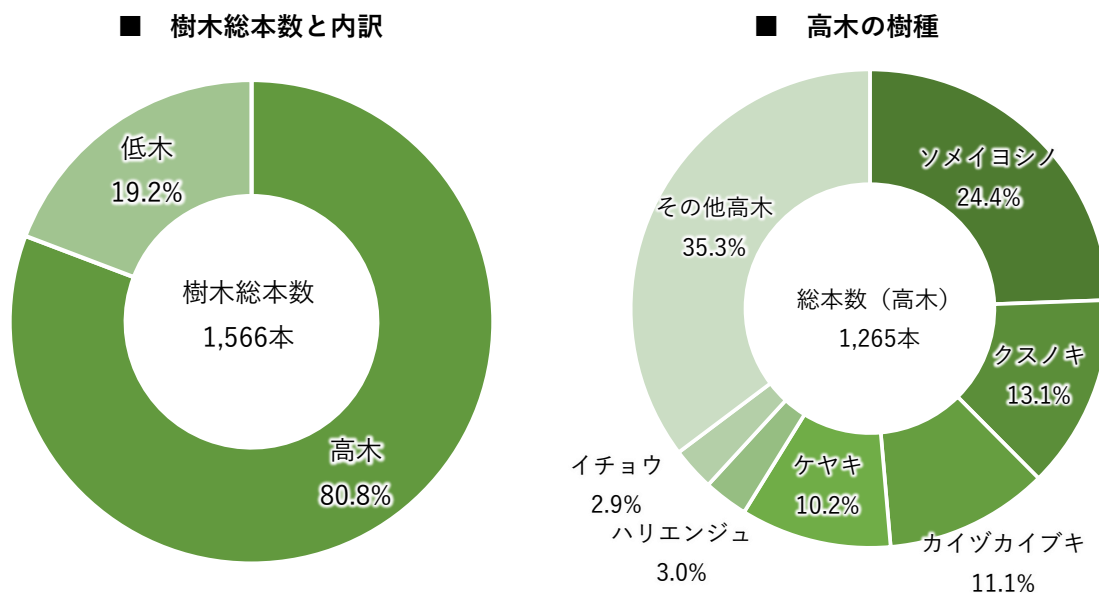
重点確認項目についてみると、最も多くみられたものは「巨木化」で580本（52.9%）と過半数となっており、次いで「根上がり・舗装クラック」が438本（40.0%）、「建築限界越え（車道側）」が357本（32.6%）となっています。



公園樹木

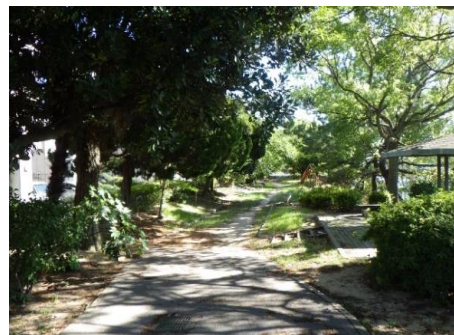
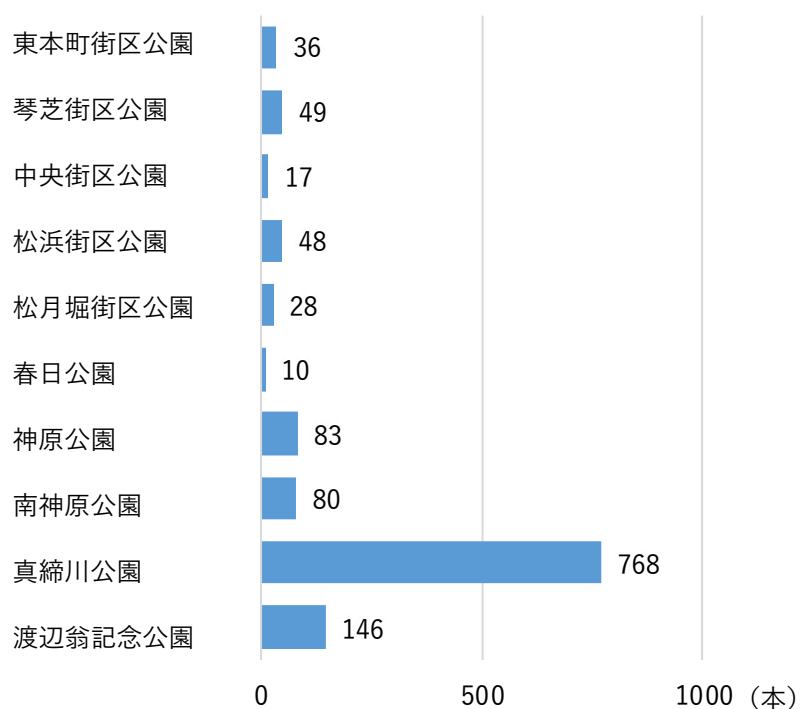
調査対象区域における令和4年8月現在の公園樹木の総本数は1,566本となっており、そのうち高木が80.8%（1,265本）、低木が19.2%（301本）となっています。

また、高木の樹種をみると、ソメイヨシノが24.4%（309本）と最も多く、次いでクスノキが13.1%（166本）、カイヅカイブキが11.1%（140本）、ケヤキが10.2%（129本）となっています。



公園ごとの高木の本数をみると、真締川公園が768本と突出して多く、次いで渡辺翁記念公園が146本となっています。

■ 高木の本数（公園別）



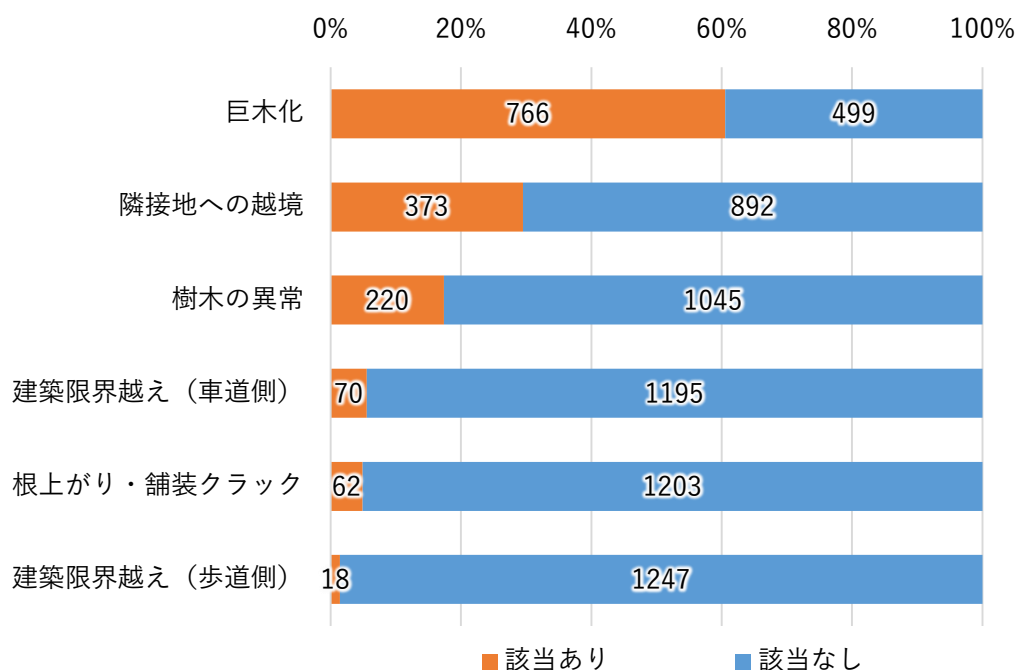
真締川公園



渡辺翁記念公園

重点確認項目についてみると、最も多くみられたものは「巨木化」で766本（60.6%）と過半数となっており、次いで「隣接地への越境」が373本（29.5%）、「樹木の異常」が220本（17.4%）となっています。

■ 重点確認項目（該当本数）



3 緑のアンケート調査

宇部市内の街路樹に関する意向を把握するとともに、本市の緑について市民が抱えている意識や今後の緑づくりに対する意向を把握し、指針作成の基礎資料として活用することを目的として実施しました。

① 調査概要

調査日

- ・ 配布 : 令和 4 年 11 月 24 日
- ・ 回収期限 : 令和 4 年 12 月 12 日

調査対象

- ・ 宇部市内在住の 18 歳以上の方 2,007 名（無作為抽出）

調査方法

- ・ 郵送による配布・回収
- ※web アンケートも同時に実施（設問は調査票（紙）によるものと同様）

調査項目

- ・ 回答者の属性（年齢、居住地の立地環境、居住地域）
- ・ 宇部市の街路樹の量と質について
- ・ 宇部市の街路樹について（良い点、問題点）
- ・ 自由意見

回収率等

- ・ 配布数 : 2,007 票
- ・ 有効回収数（調査票（紙））: 621 票
- ・ 有効回答数（web アンケート）: 260 票
- ・ 有効回収率 : 43.8%（調査票（紙）: 30.9%、web アンケート : 12.9%）

留意事項

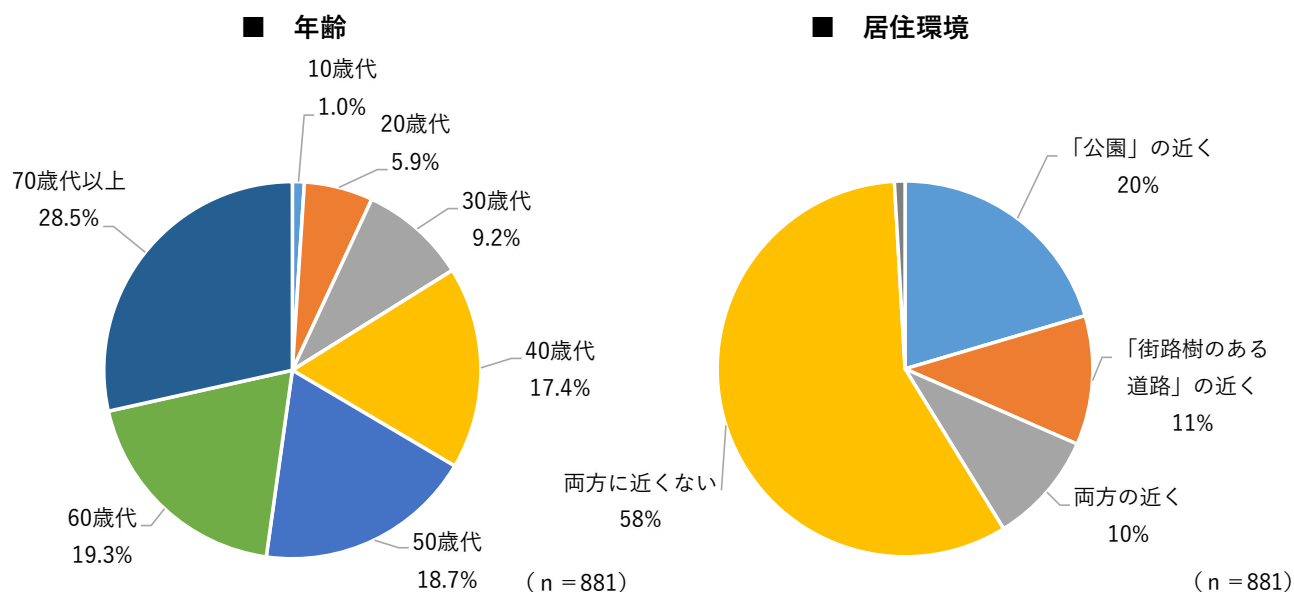
- ・ 比率はすべて小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。
 - ・ 各グラフの比率は n を母数とした割合を示しています。
- ※ n = 調査票（紙）と web アンケートの有効回答数の合計

② 調査結果

回答者属性

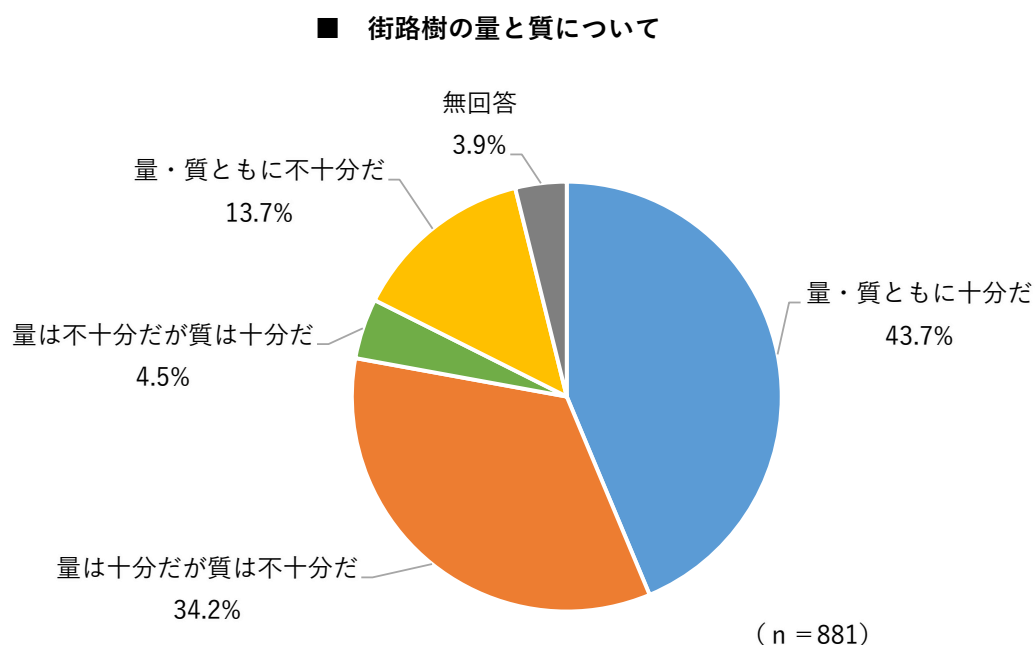
回答者の年齢をみると、70歳代以上が28.5%と最も多く、次いで60歳代が19.3%、50歳代が18.7%となっています。

回答者のお住いの近くに「公園」又は「街路樹のある道路」があるかを尋ねたところ、「公園」の近くにお住まいの方が20.4%、「街路樹のある道路」の近くにお住まいの方が11.1%、両方の近くにお住まいの方が9.6%となっており、その合計が4割以上となっています。



街路樹の量と質について

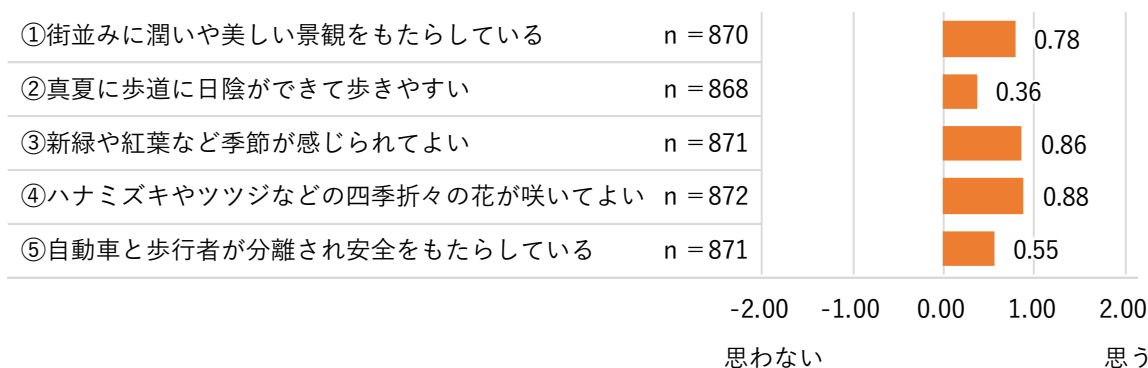
街路樹の量と質について尋ねたところ、「量・質ともに十分だ」が43.7%と最も多くなっていますが、その一方で、「量は十分だが、質は不十分だ」も34.2%と比較的多くなっています。



街路樹の良い点について

街路樹の良い点について尋ねたところ、「ハナミズキやツツジなどの四季折々の花が咲いていてよい」が0.88ポイント*と最も高く、次いで、「新緑や紅葉など季節を感じられてよい」が0.86ポイント、「街並みに潤いや美しい景観をもたらしている」が0.78ポイントとなっています。

■ 街路樹の良い点について

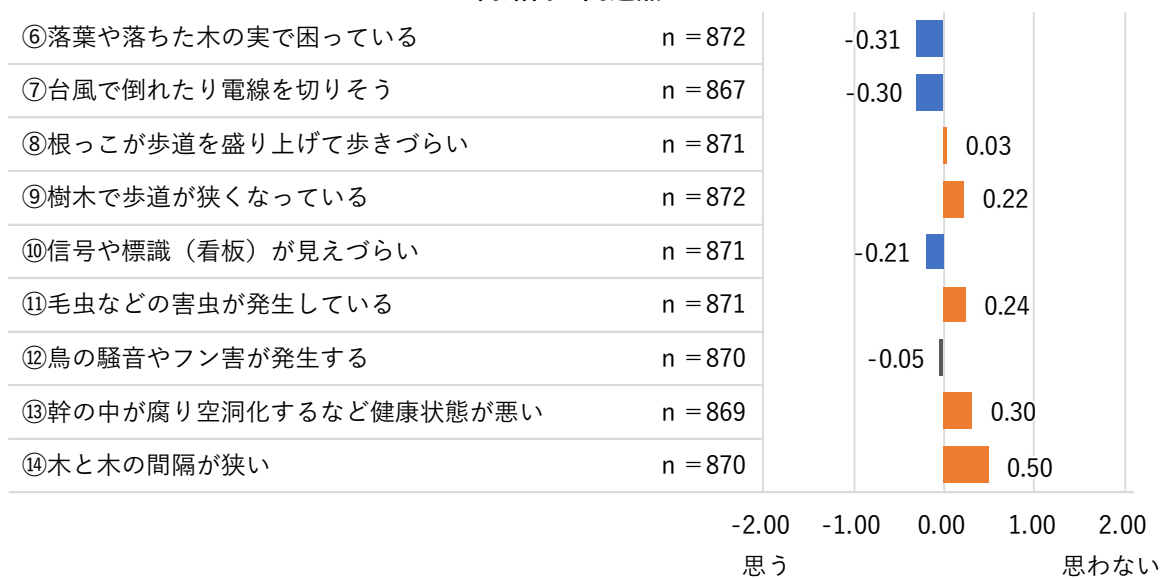


※回答の「そう思う」=2点、「やや思う」=1点、「どちらでもない」=0点、「あまり思わない」=-1点、「思わない」=-2点とし、それぞれの回答者数に点数を乗じたものを合算し、回答者一人あたりに割り戻した値（ただし無回答は除く）

街路樹の問題点について

街路樹の問題点について尋ねたところ、「落葉や落ちた木の実で困っている」が-0.31ポイントと最も問題視されており、次いで「台風で倒れたり電線を切りそう」(-0.30ポイント)、「信号や標識（看板）が見えづらい」(-0.21ポイント)となっています。

■ 街路樹の問題点について



※回答の「そう思う」=-2点、「やや思う」=-1点、「どちらでもない」=0点、「あまり思わない」=1点、「思わない」=2点とし、それぞれの回答者数に点数を乗じたものを合算し、回答者一人あたりに割り戻した値（ただし無回答は除く）

街路樹の問題点について居住環境別にみると、「公園」の近くに住んでいる方は、全体の傾向と大きく変わりませんが、「鳥の騒音やフン害が発生する」が比較的問題視されている傾向があります。

「街路樹のある道路」の近くに住んでいる方は、「落葉や落ちた木の実で困っている」が突出しており、また、「根っこが歩道を盛り上げて歩きづらい」も問題視されています。その一方で、「鳥の騒音やフン害が発生する」については、あまり問題視されていません。

■ 街路樹の問題点について（「公園」の近くに住んでいる方）



■ 街路樹の問題点について（「街路樹のある道路」の近くに住んでいる方）



③ アンケートまとめ

- 居住地が、公園や街路樹に近隣しているという回答が約4割、近接していない回答が約6割となっており、概ね均衡した回答
- 街路樹の量と質の市民意識では、「量・質ともに十分だ」が43.7%と最も多いが、その一方で、「質」に関し不十分と感じている合計割合も47.9%と多い
- 市民の多くが街路樹の良い点として、四季折々の花、新緑や紅葉など植物が発する自然や風情を情緒的に感じている
- 人工物が多い街の緑化に対して、安らぎや修景効果を感じている
- 毎年発生する植物の落葉や実の落下など不可避な事象に対し問題と考えている市民が多い
- 倒木や暴風時の架空線の断線、道路標識の視認阻害など、市民生活に関する障害の発生も危惧している
- 街路樹のある道路に近接する回答者では、落葉や実の落下、根上がりによる歩道の隆起などを問題ととらえている

- 街路樹の「質」の向上を図る必要がある
- 倒木や自然災害などのリスクに不安を感じている
- 街路樹沿線や公園に近隣する市民は落葉や実の清掃に負担を感じている

市民協働を推進するため、街路樹や公園の日常管理を担う近隣住民の負担軽減を図る必要がある